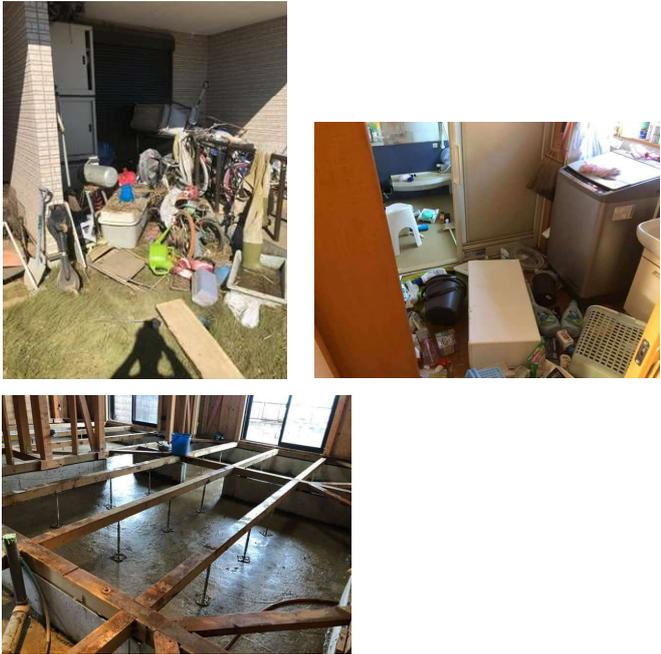


事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人彩の国ママ倶楽部

事業名	わが子を守るママ達の防災ママ連携構築 事業	
助成枠の種類	あいおいニッセイ同和損害保険(株)地域安全・災害救援支援事業	
1. 事業の目的	令和元年10月の台風19号による河川敷氾濫による水害被害で東松山市高坂周辺・坂戸市等で当日から現在に至るまで支援活動を行っている中で最も必要であり役に立った、「わが子を守るママ達の連携構築」を無駄にせず今後いつ何が起こるか分からない災害に備える事を目的とします。	
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	近年は実家から離れての子育てをする家族(核家族)が多く、産前産後も気軽に相談できる相手を見つけるというのは、人によっては難しい事もあり、SNSやLINEをコミュニケーションツールに活用している人が増えています。学校行事や地区内の子供会などもLINEでのグループを作っている事が今では主流化している為、災害時での連携を図るには大きな役割をになっていきます。災害等が起きた時に、そのママ達の中で繋がっているツールをどれだけ活かせるかが課題になっていきます。	
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	時期	内容
	7月	コロナ禍でもある為個々に可能なタイミングで情報収集を行っていきました。
	8月	・18日:冊子内の防災に関しての取材 冊子内の防災関連の内容について新井真由美講師に取材をさせていただき、団体で分かりやすく伝える為のアドバイスをいただきました。
	9月	・WEB更新作業ホームページやFacebook等 防災に関する情報を付け加えました
	10月	・WEB更新作業ホームページやFacebook等 防災に関する情報を付け加えました
	11月	・WEB更新作業ホームページやFacebook等 防災に関する情報を付け加えました

	12月	<p>① 19日：子ども食堂のフリーマーケットに参加し当団体のブースにて防災の講座や子供服の配布を実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災ミニ講座にて金子江美子講師・戸田雅子講師 ・防災メイン講座にて新井真由美講師 ・WEB更新作業ホームページやFacebook等
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・役員やメンバーさんに事務作業冊子やリーフレットを送る時に添えるお手紙等の作成 ・冊子内の執筆作業 ・WEB更新作業ホームページやFacebook等 <p>防災に関する情報を付け加えました</p>
	2月	<p>台風19号の水害被害を受けたメンバーさんのお宅に再度伺い、以前いただいた被害直後の写真と比べる為、取材をさせていただきました</p> <p>(水害時のお宅)</p> 



(今回役員が伺い撮影した現在の綺麗にリフォームされたお宅)

- ② 17日：ZOOMにて家族を守る防災セミナー
 ー メイン講座：新井真由美講師
 【片づけ防災セミナー】



・メンバー9人と役員5人講師1人、計15人参加

- ③ 23日：冊子やリーフレットを作成し、提携サロン等に無料配布の協力を依頼
 ④ 動画編集をしホームページやSNSでの宣伝。

・WEB更新作業ホームページやFacebook等
 ・25日、28日：正会員様、無料会員様にリーフレット、冊子にお手紙を添えてレターパックで100件分一斉送付

○個人サロンや事業を行っている25ヶ所の提携サロンに50冊ずつ配布しサロン内での無料配布を依頼。



(写真は提携サロン一覧です)

メンバーさん100名への配布 (100冊)

リーフレット40冊・冊子50冊×25ヶ所の提携サロン(計2250冊)

残りの750冊の冊子は現在役場や公共施設での無料配布をお願いしています。そしてミニ講座やセミナーを開催する度に団体の活動を知っていただく為の資料として配布させていただきます。

○現在、公式ホームページにて助成事業と動画や冊子のご紹介をしています。



○Facebook 公式ページでの宣伝は随時おこなっております。

https://www.facebook.com/saimama.555/?ref=pages_you_manage

4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容

12月19日埼玉県比企郡吉見町吉見観音で毎月行われている子ども食堂「しいの木広場」(来場人数91人)にブースで参加させて頂き、子供服の配布やミニ講座～防災講座の座談会をひらかせていただきました。

- ・ 防災ミニ講座にて金子江美子講師・戸田雅子講師
- ・ 防災メイン講座にて新井真由美講師

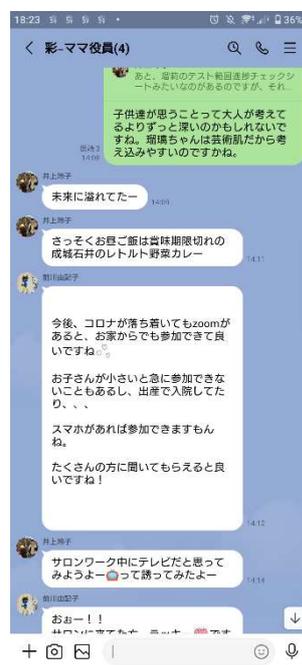
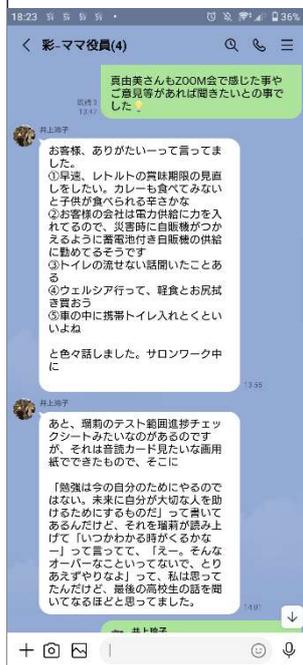
○団体を知らない地域の方にお話しを聞いていただく事ができ、地域の方々に溶け込める素敵な機会となりました、活動を知っていただく為にも周りの方々に知っていただく事が大事にもなるので、さまざまな地域のイベントに防災講座を取り入れてもらえる

かお願いしていきます。

元々は毎年2回のマザーズデイという無償ボランティアイベントを公共施設にて行ってまいりましたが、コロナ過という事である人が密になる事をさけた方法でのママ達の集まり方を2月17日のZOOM会でチャレンジさせていただきました。

メンバー9人と役員5人講師1人、計15人参加

○反省点はまだまだZOOMに慣れないママが多い事もあるので、ZOOMにチャレンジできる企画を増やしていき、ミニ講座～しっかりと身につくセミナーへと挑んでいきたいと思えます。



○LINEによる役員会議の内容です。

イベント終了後に役員が参加者からの意見を聞いたものと、役員自身が感じた事などの記録を写真データとして残しております。

参加者様からは防災セミナーを聞いて早速試してみたいといった内容を頂き、役員からはコロナが落ち着いてもZOOMがあるとお家から参加出来ていいですねといった前向きな意見を聞きました。

5. 費用面での工夫

団体の活動や令和1年からの挑戦している防災を取り入れた活動を、より多くのママ達に知っていただく為の大大的な団体で企画するイベントを本年度は出来ませんでした。子ども食堂にブ

	<p>ース参加する等に変更する事でイベント準備費用分を縮小する事ができ、SNSやLINEグループを活用し、新たなZOOMでのセミナーを始める宣伝に重点を置き、今回作成した冊子やリーフレットを活用し各提携サロンに配布する事で今まで以上に団体の活動を広める事に力を入れる事ができました。</p>
<p>6. 地域社会への還元について</p>	<p>防災に関しては地震や津波、川の氾濫とニュース等で取りざたされた瞬間は意識している事も、何も起きていない日常生活では意識が薄れやすい事でもありますので、地域とのコミュニケーションがとりやすい母親という立ち位置をもっと活かしてほしいと考え、その為にも団体として、子育て世代から孫をみる祖父母世代までの交流を増やし活用できるネットワークを通じて防災への意識向上を図っていきます。</p> <p>今回この事業を行ったことで、より多くの子連れのママ達が無理なく、周りを気にせず、落ち着く自宅からでも相談しあったり、学んだりとZOOM会を通してコミュニケーションが図れるようになり、事業を続けていく事で同じ地域の方々との交流の大事さを更に実感していくと思います。</p>
<p>7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか</p>	<p>今年度、コロナの影響を受けて取り入れた事は全て団体の活動に良い影響となりました。コロナが落ち着き、今まで行ってきた公共施設での無償ボランティアイベントが開催できたとしても、オンラインによるセミナーを最低月1回は行っていく予定です、彩ママでの講師活動を希望するママ達には随時交流の場を設け、その中でセミナーを行い、今回お世話になった講師の方々や他専門家のご意見等も聞きながら地域のコミュニケーションを大事にした、防災への意識づくりを行っていきます。</p>